

ON YOUR SIDE REPORT

2020.12

京都中央信用金庫の現況

2020年度第3四半期（2020年4月1日～12月31日）における経営情報を開示いたします

当金庫の概要（2020年12月31日現在）

本店所在地 / 京都市下京区四条通室町東入
函谷鉾町91番地

創立 / 1940（昭和15）年6月18日

預金・譲渡性預金 / 5兆1,381億円

貸出金 / 2兆9,798億円

出資金 / 201億円

会員数 / 234,022人

店舗数 / 131店舗

職員数 / 2,586人

（注）この四半期ディスクロージャーは、当金庫が自主的に開示するものです。計数につきましては、単位未滿を切り捨てて表示していますので、合計が一致しない場合があります。なお、内容や諸計数については、会計監査人の監査を受けておりません。本資料は、発表日現在において入手可能な情報に基づいております。

T O P I C S

■2020年10月1日～12月31日

10月

OCTOBER

- ・2021年度入社予定者内定式開催
- ・「京都市スタートアップ支援2号ファンド」設立
- ・目利きマイスター制度の一環として「目利き力実践研修」の実施
- ・「日本画家・石本 正の[1950年～1970年]画業深化の時代」展開催（中信美術館 30日～12月11日）

11月

NOVEMBER

- ・「ウォームビズ」実施
- ・第33回「京都美術文化賞」贈呈式挙（公益財団法人 中信美術奨励基金）
- ・岡崎支店 店舗内店舗方式により銀閣寺支店に移転
- ・「フードストア ソリューションズ フェア2020」に地元企業と出展
- ・第137回「中信禅サークル」≪南禅寺≫開催
- ・上半期ディスクロージャー誌『京都中央信用金庫の現況 ON YOUR SIDE REPORT 2020.9』発行

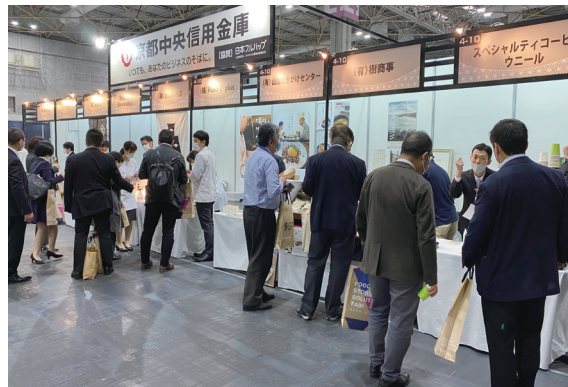
12月

DECEMBER

- ・四条支店・長岡支店にコンシェルジュを導入
- ・口座解約手続きにおける印鑑レスの取扱開始
- ・西城陽中学校で出前授業の実施
- ・「歳末ふれあい募金」公益財団法人 京都新聞社会福祉事業団へ寄託
- ・日本政策金融公庫と地元金融機関で新型コロナ対策の協調融資スキーム「京都連携新型コロナ対策ローン」創設
- ・梅小路京都西駅エリアにおけるクリエイティブタウン化構想推進連携協定を締結
- ・KBS京都「KyobizX Annex」京都中央信用金庫創立80周年記念特別番組放映



「日本画家・石本 正の[1950年～1970年]画業深化の時代」



フードストア ソリューションズ フェア2020

預金・貸出金の状況

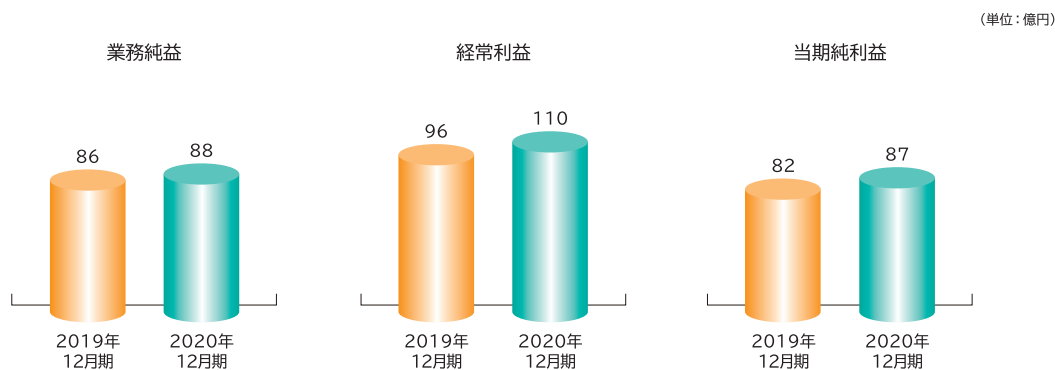
預金については、個人預金・法人預金が順調に推移した結果、2020年12月期の残高は、前年同期比3,949億円増加し、5兆1,381億円（譲渡性預金を含みます）となりました。

貸出金については、新型コロナウイルス感染症の影響を受けたお客さまへの積極的な資金供給に努めた結果、2020年12月期の残高は、前年同期比2,651億円増加し、2兆9,798億円となりました。



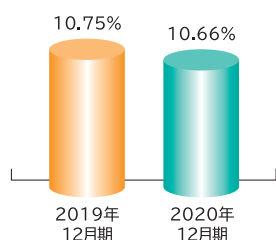
損益の状況

2020年12月期における業務純益は前年同期比2億円増加し88億円となりました。また、経常利益は前年同期比13億円増加し110億円、当期純利益は同5億円増加し87億円となりました。



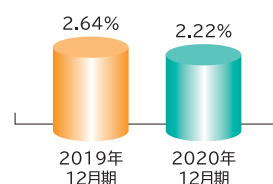
自己資本比率の状況(単体)

2020年12月期の自己資本比率は、内部留保額を積み上げたものの、リスク・アセット等が増加したこと等により、前年同期比0.09ポイント低下の10.66%となりましたが、金融機関の健全性を示す基準となる水準(国内基準4%)を大きく上回っております。



開示債権の状況

2020年12月期の金融再生法開示債権のうち正常債権を除いた合計額は661億円、金融再生法開示債権全体に対する比率は2.22%となりました。



(注) 本計数は、発表日現在において入手可能な情報に基づいております。

預金・貸出金の状況

(単位：億円)

	2019年12月期	2020年12月期	増減
預 金 (A)	47,431	51,381	3,949
貸 出 金 (B)	27,147	29,798	2,651
預 貸 率 (B÷A)	57.23%	57.99%	0.76%

(注1) 預金には譲渡性預金を含みます。

(注2) 本計数は、発表日現在において入手可能な情報に基づいております。

損益の状況

(単位：億円)

	2019年12月期	2020年12月期	増減
業 務 純 益	86	88	2
経 常 利 益	96	110	13
当 期 純 利 益	82	87	5

(注) 本計数は、発表日現在において入手可能な情報に基づいております。

自己資本比率の状況 (単体)

(単位：億円)

	2019年12月期	2020年12月期	増減
自 己 資 本 額 (A)	2,660	2,751	90
リスク・アセット等 (B)	24,749	25,801	1,051
自己資本比率 (A÷B)	10.75%	10.66%	△0.09%

(注1) 自己資本比率の算出方法を定めた「信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用金庫及び信用金庫連合会がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準(2006年金融庁告示第21号)」に基づき算出しております。なお、当金庫は国内基準により自己資本比率を算出しております。

(注2) 本計数は、発表日現在において入手可能な情報に基づいております。

開示債権の状況

(単位：億円)

金融再生法による 開 示 残 高	2019年12月期	構成比	2020年12月期	構成比	増減
破産更生債権及び これらに準ずる債権	82	0.30%	73	0.25%	△8
危 険 債 権	597	2.20%	557	1.87%	△40
要 管 理 債 権	37	0.14%	29	0.10%	△7
小 計	717	2.64%	661	2.22%	△55
正 常 債 権	26,502	97.36%	29,204	97.78%	2,701
合 計	27,219	100.00%	29,865	100.00%	2,645

(注) 本計数は、発表日現在において入手可能な情報に基づいております。